



発行所
福井県大野郡
和泉村

(昭和42年11月1日現在)

村の人口

出生	8人
死亡	1人
転入	24人
転出	85人
総人口	3,697人
男	1,956人
女	1,741人
世帯数	1,113世帯

村の面積
332.26平方km

越美北線延長工事

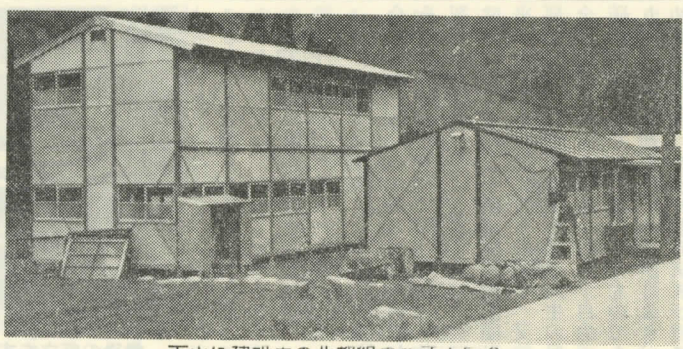
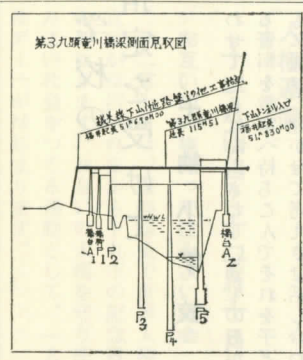
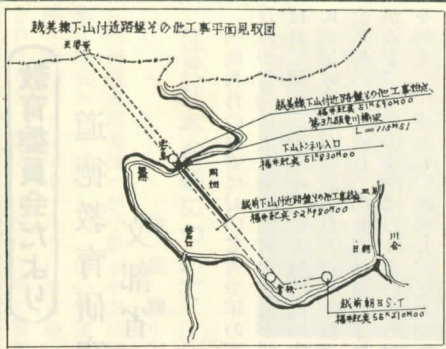
第三工区に着手

日本鉄道建設公団は、越美北線延長工事にもなう第一工区（西勝原路盤その他工事八〇七メートル）第二工区（荒島付近路盤その他工事三、二五六メートル）について、第三工区（下山付近路盤その他工事）として、下山地係におけるトンネル及び橋梁工事に着手した。

第三工区は、下山から板倉に向うトンネル一、八八〇メートルのうち、一、一〇〇メートルと、第三九頭竜川橋梁一・五・五メートルで、下山付近路盤その他工事として、北都組が施工する。

第三九頭竜川橋梁工事は、来春四月までに、橋脚P₃、P₄、P₅（橋梁側面図参照）を完成し、続いて五月には、残る橋脚や橋台A₁、A₂を初め上部工事に着手する予定である。

現在、下山地係における第三工区起点付近には、トンネル掘削用のコンプレッサーや道路等の付帯工事と共に日本鉄道建設公団名古屋支勝原鉄道建設所支所の建設が進められつつある。



下山に建設中の北都組事務所と宿舎

和泉村再建方策審議会答申

8 (承前)
魚獲方法を設定する
イ 魚獲さくを設定する
ロ 二、三年実情を見て、低水位、高水位のときの利用方法を考える
9 コイは問題なくよい。

今月の目標

あわただしい年の暮となりました。各自が防犯防火に協力しましょう

一、夜および留守の戸締りは厳重にしましょう

一、人ごみでの手提カバンや懐中物などには注意しましょう

一、ねる前に今一度火の始末を確認しましょう

こだま

10 アマゴ、ニジマスは稚魚を育て、これを売出すことを考えた方がよい。

11 プランクトンは濾過して残し、捨たらぬよう施設をする。

12 生簀を設けて養殖することはよいが、養殖地では不適。

13 人の努力によってのみ可能（魚が自然生育しないということ）だから努力をしないと失敗する。

14 貯水前の処置として、養殖場所、伐木箇所、網入場所、橋脚箇所等を予定し工作しておく。

15 放流の順序は、雑食魚（ウグイの類）を同時に放流しないよう。

16 湖尻の利用は実情を見て定める。

17 角野ガンド谷の水は、養魚に十分利用できる。

以上 (完)

さる十月二十三日午後三時、最後の三〇トンダンブーカーは、ダム本体盛り立て完成の岩石を投下した。

願れば四十二年五月盛り立て開始以来一年四か月で九頭竜川の本流に山を築きあげた。この短期間完成には幾多の好条件が備わっている。日本で始めてという土木機械、あらゆる科学技術の投入、関係者の献身的努力、加うるに天候条件に恵まれ、天災も殆んどなく

○ 少しの注意で防げる大火

最近の和泉村を回顧すると、三村合併、越美合併、和泉村誕生、伊勢湾台風、豪雪、豪雨、水没移住、電源開発工事着工、道路拡張整備、鉄道工事開始、観光和泉の脚光等、僅か十数年の間に、谷間に炭焼煙のたちこめていた平和と、のどかさのものがあつた穴馬が、九頭竜の奔流に白馬洞の天馬が駆けめぐり暴れ狂うように、目まぐるしく地底から揺り動いた。あたかも明治維新のように、いや応なしに大きな力の支配に振り動かされ、つきあげられてしまった。

来年の今頃は更に景観面目を一新することだろう。鬼も笑うどころかあきれかえる穴馬の変わりよう。眼下に見おろす広大な碧ベキの人造湖、これに映える紅葉の美観、近代的な橋と、壮大な曲線をえがく国道一五七号線、四季を絶えさぬ観光の群、山林資源、地下資源の開発はいかに及ばず、経済文化の高度成長、思いをめぐらせば数限りなく夢のような世界が近づきつつある。さてここでわれわれ村民は、唯手放さず喜んで許りてよいだろうか。幸せは与えられるものでなく、自ら創り出すものである。一大飛躍を続けつつある和泉村は、これまでに幾多の貴い人命と余儀なく離村した幾百の哀愁と莫大な経済力と、村民の努力が現在の中に生きているのである。柔順平和で肌ざわりのよい羊年は今や去らんとして、新しく猿年を迎えつつある。また、新らしく猿年を迎えつつある。また、新らしく猿年を迎えつつある。また、新らしく猿年を迎えつつある。

人災も僅少で日本第二の規模を誇るダム構築は順調に完工した。日本にとっても大きな収穫であり、殊に九頭竜川の沿岸地帯横北地域は申すまでもなく郷土和泉村にとって大変な利益をもたらす幸せを村民こそぞ喜んでよかるう。

教育委員会だより

道徳教育研究学校の

文部省指定を受けて

大納小学校

戦後教育の反省において青少年の不良化が世論に上り道徳教育の徹底が叫ばれ、昭和三十三年度から時間割の中に道徳の時間が特設された。「学校の全教育活動を通じての原則は貫きながら、道徳の時間における道徳教育を補充し、深化し、統合し、また相互の交流をはかる授業を行なうことになった。」さて当校では地域児童の実態を調査の上学校教育目標ならびに道徳教育の重点目標を設定した。これを絶えず念頭において学校教育のあらゆる機会をとらえてその徹底をはかることにした。また当面先生方が子どもに対して道徳の時間にとりくむ目標を作りそれを研究の主題にした。研究主題はすなわち「道徳意識を高める指導法の研究」である。毎週一時間の道徳授業において主題(内容)ごとに善悪不正・作為不作為などについて確固たる道徳意識を高揚し実践活動へ導いて行きたいと念願する。さて道徳の時間は過去の修身教育のような教科書があったそれを教師が説教するやり方はしない。第一指導する内容は示されている教科書は決っていない。そこで先生方は平素指導の効果をあげるために役立つ資料を読み物、紙しばい・スライド・ラジオ・テレビ・録音教材などの中から選ぶ、また自作する。できるだけたくさん集め整理しておく。そうしていざ授業となると指導する内容に合

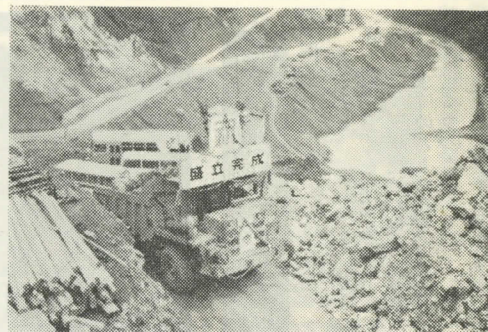
わせていちはんふさわしい効果のあがる資料を教室へ持ちこんでそれを子どもに見せ、聞かせて考えさせ話し合わせるのである。そして子どもたちの道徳意を高め実践へ導こうとするわけであるが、その間先生の指導助言が入ることはもちろんである。道徳の時間は決して固苦しいものでなくのびのびとしたふんい気の中でできるだけのびのびとたちの自主性を尊重し、なが善であるか、どれが正しいか、なにをなすべきかなすべからざるかを先生の指導助言のもとに話し合い考え合せて発見させ身につけていかせるわけである。「つまり新しい道徳は前記の天下り道徳でなく時間をかけて発見され学びとられた民主道徳のことである。」

盛り立て完成

長野ロックファイルダム

奥越電源開発の中核、長野ロックファイルダムは十月二十三日盛り立てを完了した。この日ダム頂上では電源開発九頭竜川建設所長ら関係職員多数が、五色のテープと日の丸をつけた三十トンドンプカーによる最後の盛り立てを祝った。

これと共に本流水系の鷲ダムを初めとして、石徹白水系の各ダムも九〇パーセント以上建設が進み来年六月発電開始を前にいよいよ最終段階に入った



最後の盛立をする30トンドンプカー

谷口武雄 中内智利 両氏を表彰

和泉村は、地方自治の振興および社会事業等と数々の村政の進展に貢献しその功績顕著であった谷口武雄、中内智利の両氏をこのほど表彰した。谷口武雄氏は、昭和二十年消防団に入団以来二十一年の長期に亘り勤続し、又幹部として、組織の団結を図り民生の保全に努力、幾多の業績を残し、自治消防の発展に尽した功績によるものであり、又中内智利氏は、本年四月より、幼稚園小学校、中学校前の横断歩道において通学、通園の幼児童を輪禍から守るため、登校時における交通整理、安全指導を続け、子供を交通事故から守り、明るい社会を作るための献身的努力によるものである。

役場の窓

明るく正しい選挙

草花つくりと選挙

あなたは、種苗カタログに心をひかれ、今年ほどの花を取りよせて植えようかと、その一つ一つの性質や特長、栽培方法など、そのカタログに出ていた参考記事と自分のもっている知識とをもとに充分見討して、それではこの花にしようかと註文して栽培する。やがてつぼみが出来、花が咲く、咲いた花がカタログに出ていたカラープリントの様に美しい花であれば、やっぱり作ってよかったと、うれいであろう。反対に、にてもにつかぬ花であれば、この次からは、けっしてこの花は作りはしまい、この会社へは註文してやらないと思うだろう。

ところで選挙もそうであると思う。選挙広報や立合演説会その他いろいろ資料で候補者の所属政党や政見政策、公約等を十分に検討した上で自分はこの人かと投票する。それであとはどのようなにして下さってもあなたにおまかせ致します。私には関係ございませんではこまります。花も植えただけでは美しい大きな花は咲きません。選挙も投票しただけでは明るい政治は望みません。あなたの選んだ候補者の議会の態度はどうか?公約は立派に実現しつつあるか、発表された政見や政策にもとずいて議会の審議にあっているかなど調査検討しなくてはならないのです。あなたの選んだ候補者には、選んだ責

納税を楽にすませるには

一 税務課

納税は「日掛け、月掛け、心掛け」と言われ、一度にまとめて納めることは決して容易ではありません。平素から計画的に納税資金を蓄積しておくその方法に、



納税貯蓄組合があります。一人では困難なことも、同業者や近所の人と共同で明るい納税が楽にすませることが出来ます。いろいろな特典もあり、まだ加入していない方は、一日も早く加入しましょう。

教育センターに全国鉱物標本

「送られてくる荷物を見て」

(前承)

各地から輸送される標本の包装は、実に親切丁寧でどんな細かい標本も破損することのないよう配慮された発送者の誠意を感謝しています。

4、岩石、鉱石の今後の利用

教育センターは、教材や資料を整備して、学習に活用することが目的の一つであり、大いに利用して戴きたい。センターの廊下に並べられた標本を見

無理なお歳暮はやめましょう。

て、今まで歓心や興味をもっていなかった子供たちが、郷土の地質学に目を向けてきたきざしが夏休みの宿題にもあらわれています。

5 村民の皆様へのお願い

全国の鉱石標本は相当集まりましたが地元の標本はまだ一個もありません。磨いた石、原石、更に全国でも珍らしく学術的にも貴重な化石が相当あると思います。どうかセンターの内容充実のためご提供願えれば有難いと思えます。

二十周年記念植樹行

(農業災害補償制度)

産業観光課

昭和二十年に農業災害補償制度が施行されてから二十周年を迎え、これを記念して、全国の農業共済組織において、植樹運動が展開され、本村においても、この運動に参加し「泰山木」の記念植樹を行った。



植えられた記念樹

住民基本台帳について

住民課

「住民基本台帳法」が、第五十五回特別に国会において成立し、一部の規定を除き昭和四十二年十一月十日から施行されました。従来、住民は住所の異動

等にあたり、いくつもの届出をせねばならなかったし、一方役場においても各担当事務ごとにその対象となる住民を記録しなければなりません。こうした複雑な制度から、届出等の簡素化による住民サービスの向上と合理的な事務処理を住民基本台帳に基づいて推進して行くとういものです。

義捐金のお礼に寄せて

先に御協力いただいた九月風水害による山形、新潟両県の罹災者の義捐金について、この程山形県知事より鄭重なお礼状が届けられました。

このことにつけて思い出すのは、かつての伊勢湾台風や中竜地区の水害の時、各地からのあたたかい同情と援助を忘れることはできません。

不幸は天災のみでなく、毎日の如く激増する交通事故や公害の犠牲者、今だに充分な救済措置のとられていない原爆被災者、身動きもできない重症身心障害児(者)等、数えれば限りなく、ほんとうにお気毒だと思います。

これらの方々に寄せる私達の小さな善意である義捐金、赤十字募金、共同募金、年末助け合い運動、おむつやタオルの供出運動が、ともすれば打ちひしがれそうになる心の痛手に、生きる

人権週間

十二月四日～十二月十日

お互いの人権守って住みよい社会

十二月十日は、国連総会で世界人権宣言が採択されてから十九年の記念日にあたります。お互いの人権を守り住みよい社会をつくる運動として、「人権デー」がはじまります。

意欲の小さなとももし火を点ずることにすれば、こんなうれしいことはありません。

年末警戒

和泉村消防団

「火の用心」ということは、耳にたがでできるほどよく聞きなれている。しかし、火災は年々増加する一方である。特に冬期間は、プロパンガス、電気、石油等のストーブを初め、あらゆる暖房器具や燃料が使用される。

少しの不注意が、大きな火事をまき起こし、家、衣類はもちろん、人命までも奪われることがある。今年も消防団では、年末警戒を計画しているが、まず個人個人の職業、環境にあった安全な防火対策をたて、家族全員が、つねに心がけることがかんじんである。

このことにつけて思い出すのは、かつての伊勢湾台風や中竜地区の水害の時、各地からのあたたかい同情と援助を忘れることはできません。

人権とは

① 人が幸福な生活を送るのに必要
な人間としての権利

② 人間が人間として扱われる権利
人権擁護委員の仕事
各市町村には、人権擁護委員がおかれ常に法務局と連絡するなどして次のような仕事をしています

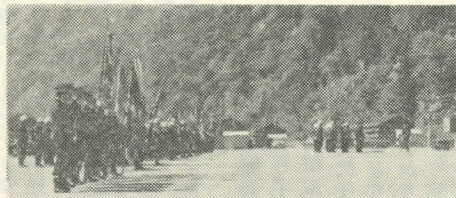
① 自由人権思想の啓発
② 人権侵害事件の任意調査を、委員と法務局が共同して秘密のうちに無料で行い、適当な救済をしています。

これと共に十二月は、犯罪の多い月でもある。夜間の一人歩き、自動車の屋外駐車、オートバイ、自転車の屋外放置、窓のしめ忘れなどに十分注意して、犯罪をおこさせるような「スキ」を作らぬことが大切である。

強風下 火災発生!

高志地区秋期消防総合演習行

昭和四十二年高志消防協会秋期消防総合演習が、十月二十五日当村において、高志管内七町村消防団参加のもとに行なわれた。



電発グランドにおける表彰式

模範訓練は強風異常乾燥により朝日中心街より出火、風下下帯に延焼及び飛火による出火という想定で行なわれ

消防団は現場に急行し、隣接町村消防団には応援出動を要請、延焼阻止、避難指導や消火にあたるなど、日頃鍛練された消防精神のもとに、機敏な活動をくりひろげた。

このあと役場前より電発グラウンドに向って行進しそのあと表彰式が行なわれた。

特別功労章
谷口秀雄、山出富造、登久男、長岡昇一、谷口政幸、三坂保司、苅安四郎

功労章
洞口秀雄、島崎正意、河本緑、谷口新作

永年勤続章 (二十年以上)
三島健太郎 加藤守彦 栗守俊一
平瀬利夫 桜川義夫 佐藤博成
山腰実栄 谷口久男 村上良夫
宮下乙松 表 俊一 吉川秀雄
中内利雄 坪 光雄 加藤一美
下出定幸 松山正一 林 昭明
西 喜代美 村上 一得 山口豊成
谷 輝雄 東 定治 谷口新作
林 藤市

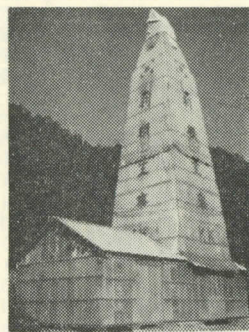
正当な権利が、お金がなく裁判を受けられないためシブシブ相手のいうなりになる。

このようなことのないように裁判の費用や弁護士の手数料、謝金などを立て替える制度であります。こうした扶助を受けた方は、法律扶助協会か、人権擁護委員もしくは法務局にご相談下さい。

○ ジフテリヤ、百日咳の三回目予防接種は十二月中

広域地質調査始まる

「中竜地域」有望地下資源に指定さる
 中竜鉱業所を中心とする西谷村、池田町、武生市にまたがる山岳地帯約四百平方キロメートルが、中竜地域として通産省の有望地下資源開発の指定を受け、このほど地質構造調査のためのボーリング工事が上大納黒谷上流において初められた。地下一五〇メートルまでロットを打ち込み、来年二月頃まで続けられる予定である。この地質構造調査のためのボーリング工事により、鉱石が埋蔵されていると思われる地点を限定し、約一キロ間隔の精密ボーリングが行われることになる。



上大納黒谷に設置された
 高性能ボーリングマシン

私の希望

常設消防の設置

「火」は日常生活における最も愛されるべきものであると共に、最もおそろしいものである。ダム工事にもなう家屋の増加にもかかわらず、幸にして大火がなかった。身にこたえるような大火がない為か、最近では、火に対する注意力が、おろそかになりつつある。これから年末にかけての、色々な屋内行事を初め、乾燥期、春の火災シーズンを迎えるにあたり、外火に対する注意や、プロパンガス器具の点検、危険物取扱所の整備指導その他火災防止の為の常設消防職員を設置出来ないものだろうか。それらの自治体の財政能力もあることで、他の市町並の常設

良い子の交通安全教室

去る十月二十八日交通安全週間中の行事で朝日小学校では児童たちの交通安全教室を開いた。当日は大野警察署よりおまわりさんが来校、色々な道路

消防体制とまでいかないまでも、それに準じた設備が、出来ないものだろうか。その点について当局者に考え方を伺いたしたい。尚良い構想があれば発表していただきたい。

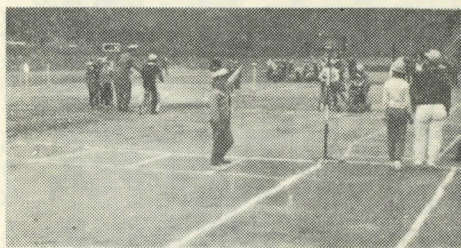
明るい村づくりを望む

電源開発工事完成後の和泉村建設計画は、既に各部門にわたって計画され審議され、一部実践に着手されていますが、私たちに具体的な何がどうなるのかわかりかねています。計画が村民全般の利益や幸福につながるような村づくり、村民挙って信頼し、ついて行けるような内容と方法であってほしいと思います。既に出来上っている計画を今一度、納得のいく方法で知らせて戴き、それによって出来る限りの協力を致したいと思えます

○ 年末助け合い運動に協力しよう。

標識や信号機で指導を受ける良い子達の真剣な勉強風景が見られた。

「横断の注意」秒けが一瞬



写真は 熱心に勉強するよい子の交通安全教室

行く年をかえり見て

あわただしかった今年も余すところわずかととなり、和泉村にとって一大転機とも言われたダム工事は、ほぼ完成の運びとなつていよいよ和泉村再建計画の第二が正に訪すようとしていきます。本年は、合併当時より計画されていた簡易水道が完成されて水道施設による給水は実施され、越美線工事にて和泉村内にて工事も既に始まり村民待望の朝日開通も間近となった。早春朝日小学校の新築工事が着工されて年内には鉄筋三階建の学び舎の偉容がそびゆる事だろう。又再建方策の一環として観光開発の地元の体制固めとして和泉村観光協会が設立発足された道路改修工事に於ては村部落内の舗装

人のうごき

【出生】(九月分)

- 荷暮 島内 美佳 雅彦 長女
- 朝日 岡田 隆美 隆雄 長女
- 大谷 田中 理津子 勝美 二女
- 野尻 宮原 真貴子 次郎 二女

【婚姻】

- 朝日 中山 美智代
- 福井市手寄町 伊藤 雅夫
- 小谷堂 木島 紀代美
- 富山県中新川郡 川瀬 敏和

【死亡】

- 角野 吉川 ひろ 八四才
- 板倉 林 たみ 六四才
- 朝日 水谷 ハナ 六六才
- 面谷 尾崎 義一 七三才

【出生】(十月分)

- 下半原 林 敏幸 幹雄 二男
- 上大納 長岡 容子 昇一 二女
- 下山 清水 和英 一英 長男
- 東市布 酒井 美代子 美明 二女
- 上大納 田上 みどり 次徳 長女
- 持 穴 和田 ゆかり 隆夫 長女
- 朝日 猪狩 幸子 広道 長女
- 上大納 竹中 理香 一稔 長女

【婚姻】

- 角野 角井 浩
- 群馬県勢多郡赤城村 今井 澄恵
- 福井県鯖江市 原野 武男
- 上大納 塚田 照代

【死亡】

- 野尻 佐藤 小きく 八四才
- 下山 山 こま 八五才
- 面谷 池田 一蔵 七一才
- 面谷 池田 信子 六三才

は完全に終り水没による村替国道の開通も間近となった。酷暑の八月県へき地複式学級教員研修会が当村朝日中学校等で盛大に行われて当村学校教育には意義ある行事であったと思う。九月にはかねて各学校の悩みであった学校給食センター新築工事が着工され、最新の給食設備による生活の改善合理化が期待されている。国鉄の定期観光バス、もみじ号等の来村で、当地もにわか観光地ムードが盛り上って来た。九月頃よりダム工事はいよいよ完成間近となり本年中に貯水開始も始まり湖に白き山々の映えるのも今しばらくとなり、ダム問題、災害復旧問題、鉄道の問題等、三大目標の総仕上げの来る年に今また村再建計画が現実化に具体化されつつ、行く年を回顧して新しい村造りに大いに公論の盛り上がり期待したい。

あとがき

一、師走は、四極とも書き、一年のすべてのことをなしおわった月とされている。一年の生活の区分をする大切な月である。

一、本年は、越美北線延長工事、林業構造改善事業地域の指定、あるいは公共施設の完備と進歩的な一カ年であった。いよ／＼四十三年は、電源開発工事も完成し、和泉村百年の大計にいとむ年である。



年賀状は早目に：
 (特別取扱い)
 12月15日より
 28日まで